

オンデマンド医療 MaaS

三重で実証実験

MRTとオリ
コンサルら

MRT（東京都渋谷区）は、MONET Technologies（千代田区）、大日本印刷、オリエンタルコンサルタンツ、三重広域連携スパーシティ推進協議会と連携し、三重県の大台町、多気町、明和町、度会町、大紀町、紀北町の6町で「オンデマンド医療 MaaS（モビリティのサービス化）」の実証実験を、4日から12月27日まで行う。

この取り組みは、内閣府・総務省・経済産業省・国土交通省が連携し選定する2021年度スマートシティ関連事

業のうち、経済産業省「無人自動運転等の先進 MaaS 実装加速化推進事業（地域新 MaaS 創出推進事業）」の実証事業の受託事業者に、MRT が選定されたことによるもの。

実証実験では、過疎化と高

齢化が進む地域の医療課題解決に向けて、6町が連携してマルチタスク車両を運用し、看護師や保健師が同車両で患者の自宅を訪れ、車両内で保健指導や受診勧奨を行う。また、ビデオ通話で病院内の医師によるオンライン診療やオンライン健康相談なども行う。

地域住民の医療アクセスの改善、オンライン診療などの新たな受診機会の創出で、健康意識の高まりや行動変容を促して医療費抑制につなげる。また、共同運用による財政負担の軽減も検証する。